

あるデルスィムの物語

—クルド文学短編集—

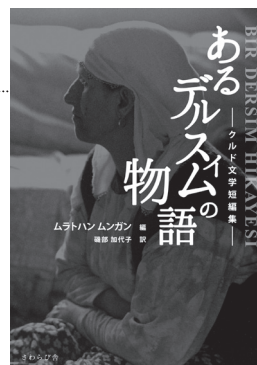
ムラトハン・ムンガン 編
磯部加代子 訳

デルスィム、それはクルド人の土地 そして虐殺の地
初めて日本語に訳された

国なき民族 クルドの文学!

語りえぬ思いが、物語を通じて現れるとき、人は沈黙の意味を知る

1937年トルコ、デルスィムで起きたクルド人虐殺をテーマに、
10人のトルコ人作家が描いた、人々の記憶と葛藤をめぐる物語



A5判・並製・180頁
定価：本体1,600円＋税

あなたが手にしているこの本に収録されているのが文学作品であるということを忘れないでいただきたいのだ。文学は怨念を新たにするためにではなく、記憶を新たにするために創作されるのだから。優れた文学は、人びとが真実を認識し、事実を引き受け、責任を負い、真実に耐える力を与えようとしてくれるものである。数々の虐殺事件を行うのは人びとではなく、精神である。野蛮なのは、権力と権力側の機関である。(編者まえがき)

【内容】

まえがき 母乳、血、ことばから成る骨	ムラトハン・ムンガン
カラスの慈悲心	ヤルチュン・トスン
ムニラおばさんのお伽話	ジェミル・カヴクチュ
ロリ… ロリ…	ベフチュット・チェリッキ
重荷	アイフェル・トウンチュ
先史時代の犬ども	ブルハン・ソンメズ
白頭鷲	ハティジェ・メリイェム
サビハ	カリン・カラカシュル
その昔、私はあの広場にいた	セマー・カイグズズ
祖父の勲章	ヤウズ・エキンジ
禁じられた故郷	ギョヌル・クヴルジウム
訳者まえがき・解題・あとがき	磯部加代子

原著編者 ムラトハン・ムンガン

1955年、トルコ、イスタンブル生まれ。両親はクルディスタンの町マルディン出身で、幼少時代はマルディンで過ごす。アンカラ大学を卒業後、国立劇場で仕事を始め、1984年にメソポタミア三部作の二作目「タズィエ」で最優秀劇作家に選出される。詩人、劇作家、短編小説家と多くの顔を持ち、著書も多く、トルコを代表する作家の一人。

訳者 磯部加代子

1973年、神奈川県生まれ。クルド文学翻訳者(トルコ語)、トルコ語通訳(フリーランス)。著書「旅の指さし会話帳18トルコ」(情報センター出版局)、訳書「魂の視線 ～光の教師からあなたへ真実のメッセージ～」(高木書房)など著訳書多数。

注文書	●取次店・書店名	●部数	発行 さわらび舎	〒335-0003 埼玉県蕨市南町3-2-6-701 Tel・Fax 050-3588-6458 携帯 090-4900-4016 http://www.sawarabisha.com
		冊		書名 あるデルスィムの物語 —クルド文学短編集— ムラトハン・ムンガン 編 磯部加代子 訳 定価：本体1,600円＋税 ISBN978-4-9908630-4-3 C0097 ¥1600

●書店様へ、ご注文は JRC まで (FAX : 03-3294-2177)